

「国公・岐阜9条の会」5周年記念 新春平和講演会

渡辺 治さん(一橋大学名誉教授)

戦後60年を締めくくる2005年の師走12月23日、大雪の降りしきるなか「戦争をする国」にしようとする改憲の動きに危機感を持った国公労連傘下の各単組組員、管理職や退職者など県内で働く国家公務員の仲間が岐阜市内に駆けつけました。

私たちは、職場・地域で憲法を生かし、平和で豊かな国民生活を実現していくために、「この思いを一人でひそかに持つだけではなく、しっかりと意思表示をしなければいけない」「同じように思っている人たちと手を組んで、さらに広め、深めなければならない」と考え、「国公岐阜・九条の会」を発足させました。あれから既に5周年です。

そこでこの5周年を記念し、岐阜県国公、九条の会・岐大ネット、岐阜・2001年の会との共催で平和講演会を開催することになりました。記念講演会にふさわしく憲法学の泰斗である一橋大学名誉教授の渡辺治さんをお迎えすることができました。渡辺さんは中央の「九条の会」の事務局の職責も担当されておりご多忙のなかでの来訪です。ぜひ皆様も友人をさそってお出かけください。

民主党政権でどうなるくらしと平和 憲法9条と25条

渡辺 治氏プロフィール



1947年東京生まれ
東京大学法学部卒業
一橋大学名誉教授
九条の会事務局
著書に『憲法9条と25条・その力と可能性』(かもがわ出版)『日本国憲法「改正」史』『憲法「改正」』『構造改革の時代』など。

・・・国公・公務職場で働く皆さんの参加を訴えます・・・

1月8日(土) 新春平和講演会

— 九条の会事務局 渡辺 治先生を講師に招き —

民主党政権が発足して1年余。

『地域主権』の名のもと国民のくらし破壊が進められようとしています。教育や医療・福祉、国民生活に密着した公務サービスの切り捨てなど憲法25条が規定する「国民の生存権」を実現すべき、国の行政、地域に密着した地方の国の行政機関が切り捨てられようとしています。

国の行政で働く労働者として、日本国憲法を守り、平和で豊かな国民生活を実現していくためにどうしていくのか、「9条の会」事務局の渡辺先生を招き学習しましょう。

新春平和講演会

と き：2011年1月8日(土) 午後2:00~4:30

と ころ：じゅうろくプラザ・ホール(岐阜駅前)

主 催：新春平和講演会実行委員会

岐阜県国家公務員関連労働組合共闘会議

国公岐阜・9条の会 九条の会・岐大ネット

岐阜・2001年の会

連絡先：岐阜大学地域科学部憲法学(近藤真)研究室

TEL/FAX:058-293-3318 email:mkondo@gifu-u.ac.jp

交通のご案内



詳細情報については、岐阜県国公または岐阜県国公傘下の各単組代表者にご連絡ください。